

令和5年度 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年4月1日

事業所名 妙高市療育施設 ひばり園

対象職員 6名

		チェック項目	はい	いいえ 不明	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	6		・活動によって部屋を分けて使用することでスペースを確保しています。 ・0～2歳児では、利用人数や幼児の特性、職員の配置人数により利用日を決めています。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	3	・1対1対応の幼児が増加し、現数の職員の数だと安全に運営できないこともありました。 ・職員の休みなどで、代替えの職員が必要になり、その都度依頼しなければならないことが多くありました。
	3	生活空間は、本人に分かり易く構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6		・写真やイラストを使って手順などを分かりやすくしています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		・感染症防止のための換気や室内・玩具の消毒は継続していきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	4	2	・各教室の運営、園行事についてはその都度職員で振り返りを行い、改善点を記録にとどめ、次の活動に生かしていきます。
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2	・集計結果を職員会議等で情報共有し、職員間で共通理解を図りながら業務の改善に努めています。 ・評価表は、前年度より配布時期を一カ月程はやめてみました。調査票が未提出のご家庭もあり、催促をしなかったせいか回収率が伸びませんでした。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2	・園評価の結果は、妙高市のHPに掲載しています。掲載の有無を、園だよりでお知らせしています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	・療育の指導内容について上越教育大学の教授から指導助言をいただいています。
	9	職員の配置数は適切であるか資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2	・市内の公立園を視察し、当園利用者の園での生活を療育活動の参考にしています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	1	・児童発達支援ガイドラインに基づき、具体的な支援に努めています。 ・4歳児では、希望者に発達検査を行い、対象児の特性の理解や支援方法について、保護者、在籍園、当園で共有しています。（今年度の希望者は6名）
	11	子どもの適応行動の状況を図るため、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	1	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		・子どもの発達にあわせて年度初めに全職員で話し合っ決めていきます。 ・個別活動と集団活動を組み合わせプログラムを作成します。 ・繰り返し行わなければならないこと、子どもたちの実態に合わせて変更して行くことなど見極めながらプログラムを組んでいます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6		
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		・朝会后、教室の指導案を用いながら役割を確認しています。 ・教室環境は、前日から準備を行っています。	

	チェック項目	はい	いいえ 不明	工夫している点、課題や改善すべき点など	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	・午前療育、午後職員間で振り返りを行い次の活動につなげています。	
	19	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	・教室終了後、振り返りを行い、支援の検証・改善を行っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	・児童発達支援管理責任者、相談支援専門員（同じ園舎内に開設されている）が適宜行っています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	・児童発達支援管理責任者、相談支援専門員（同じ園舎内に開設されている）が適宜行っています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	・児童相談所、関係課の保健師、臨床心理士、家庭児童支援専門員、園指導主事、相談支援専門員等と常に連携を取り、必要に応じて、支援者会議やケース会議を行っています。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/	・今年度は、医療的ケアの対象者はいませんでした。 ・保護者からの受診結果や担当の相談支援専門員から状況をお聞きすることはありますが、主治医等と直接話し合うことはありません。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/	・関係機関と支援者会議やケース会議をオンラインでも行っています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等情報共有と相互理解を図っているか	5	1	・妙高市内の公立園からの参観と当園からの情報提供を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	・妙高市内小学校、特別支援学校からの参観と当園からの情報提供を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	・利用者が、転出入する場合は、関係機関と連絡を取り合い、情報共有しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	・利用者が、他園に出向いて交流することはありませんが、各教室内で他園の園児と交流する場となっています。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	4	・要請がありません。あれば出席します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		・保護者との面談を行い、情報共有は積極的に行うように心がけています。 ・発達の状況や課題を受け入れにくい保護者への対応に苦慮しています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	6		・ペアレントトレーニングは行っていませんが、教室の中で対応の仕方、関わりを教えたり学んだりする場としています。
保護者	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	1	・療育の時間内に行うことが多いですが、丁寧に説明していきたいと考えています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	・保護者からの教育相談は、希望があればいつでも行っています。 ・定期的な保護者面談は、5歳児教室で年2回保護者面談を行っています。
	35	父母の会を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	/	/	・父母の会、保護者会などはありません。

	チェック項目	はい	いいえ 不明	工夫している点、課題や改善すべき点など	
への説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		・相談があった場合は迅速に対応しています。園内では対応することが難しい場合は、子育て支援係に報告し、それぞれの役割を持って対応しています。
	37	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	・0～2歳児には園だよりを配布しています
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		・関係書類は鍵のあるロッカーに保管し、十分注意しています。 ・黒板に表示するときはイニシャルや名前だけにしています。 ・メール送信の際はパスワードをつけ、個人名の入ったFAXは送信しません。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		・希望する保護者とは、ひばり園のラインメールを利用しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか			・利用者のプライバシーに関わるので、地域の方は招待していません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	・0～2歳児に関しては、災害を想定し訓練を行っています。 ・3・4・5歳児教室は、年度当初利用保護者に各マニュアルがあることを口頭で周知します。 ・3・4歳児を対象に帰宅訓練をおこないました。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		
	43	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6		・調査票、面談等で聞き取ったことを共有し対応していきます。 ・現在、食物アレルギーのお子さんはいません。 ・コロナ禍のため、親子プレー教室のおやつの時間は中止しています。 ・親子プレー教室・3歳児・4歳児教室の食事指導は、希望者のみ実施しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示署に基づく対応がされているか			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2	・ヒヤリハットがあった場合は、フォルダに記録し、検証・改善策を検討していますが、事例集は作成していません。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	・研修を受けた職員から他の職員に伝達しています。
	47	どのような場合に止むを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	4	・当施設では、身体拘束を行っていません。